

札幌の冬の魅力、  
子どもたちに届けましょう!

# 雪学習 NEWS

札幌市内  
小学校  
教諭向け

Since 2016

雪学習NEWSでは、札幌市の小学校教諭を対象に、札幌の冬についての話題や知識などの情報を、冬のスーズンを中心に、定期的にをお届けします。

No.18

## 冬と親しむ

いよいよ平成最後の冬・ウィンターシーズンです。札幌市は、年間に126日ほど(気象庁の平年値)雪が降ります。冬や雪と親しむ機会が多い札幌の子どもたちが、より日常生活や社会に目を向けるヒントを紹介します。

本号では、雪を使った生活科の実践例を紹介します。実践情報を参考に学校オリジナルの「スノーランド」づくりに取り組んではどうでしょうか。また、朝の会で使える小ネタは、テレビリモコンのボタンです。情報収集だけではなく、各テレビ局の違いや工夫を調べる活動に繋げてみたり、Q&Aから、除雪就業者の高齢化によるリスクをグラフの読み取りから考えさせてはどうでしょうか。

### 生活科

## スノーランドで遊ぼう!~2年生~

雪、雪、雪。せっかく雪があるのだから、雪を使って学ばない手はありません。1年生では思い思いの雪遊びをし、2年生では、1年生の経験を生かして、「スノーランド」をつくる学習をしてはいかがでしょうか。

### 作ってみよう!雪遊びコーナー

子どもたちの発想で遊びを生み出し、工夫していくことを大切にしましょう。

- 雪玉の当て
- 穴に入れるサッカーゴルフ
- カラフル雪玉づくり
- 迷路
- 雪だるまづくり競争
- かまくら飾り付け
- 宝探し
- スノーフラッグ
- 雪の平均台競争



### 1年生を招待してみよう!

それまでの「うごくおもちゃ」等の学習で、1年生を遊びに招待し、相手意識をもつきっかけをつくります。そしてこの「スノーランド」に招待することで、「あのときの1年生は、○○なら喜んでくれそう。」「1年生も楽しめるようなルールを考えよう。」「外でも分かりやすい説明をするにはどうしたらよいか。」といった意識をもつことができます。子どもたちが、自分から雪に関わる姿を目指したいですね。

### さっぼる雪まつりに出かけてみよう!

「1年生を喜ばせたい」「楽しいコーナーをつくりたい」という思いをもって、「さっぼる雪まつり」に出かけることで、目的意識をもって参加でき、さらに、自分たちのコーナーへ還元することができます。

- コーナー:自分たちにも取り入れられそうな面白いことはあるかな。
- 運営面:雪まつりの人は、どうやって声を掛けているかな。
- メンテナンス:雪が降ったり、解けたりしたときはどうしているのかな。

雪まつり 大通・すすきの会場:2月4日(月)~2月11日(月・祝)  
開催期間 つどーむ会場:1月31日(木)~2月11日(月・祝)



### 道具・メンテナンスなど

#### 【計画を立てるとき】

子どもたちの持っている油粘土を使って、模型を作るとイメージを共有できます。



#### 【作るとき】

プラスチックのスコップだとなかなか掘り進みません。鉄製のスコップが便利ですが、大人用は重たいので、子ども用の鉄製スコップがあると作業がはかどります。



#### 【メンテナンス】

天気や気温によって、雪が解けたり積もったりと、刻々と状況は変わります。自分のコーナーのメンテナンスをどうしたらよいか、子どもたちが自分で考えることが大事です。その上で、「調べたいな」「雪まつりで聞いてこよう」となると、より子どもたちの本気度が増します。ぜひ、先生方も、一緒に考えてみてください。



# なるほど!札幌の冬

~朝の会で使える小ネタ~  
実物投影機で大きく映そう!!



## テレビのdボタンで、除雪情報が見られる!

「明日は除雪車が来るのかな?」「何時頃雪かきしたらいいかな?」「雪が積もっているのに除雪は入らないのかな?」そんなとき、テレビのdボタンを押せば、簡単に除雪情報が見られることは知っていますか?

HTB、NHK、HBC、UHBのどれかにチャンネルを合わせ、**dボタン**を押すと「除雪情報」と書いてあるところがあります。そこを押すと、住宅街にある道路の除雪車の出動予定や、出動状況を知ることができます。



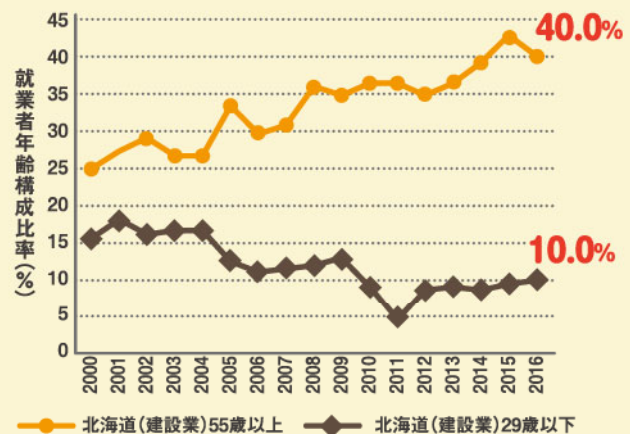
除雪車は、目安として10cm以上雪が降ったときに出勤することになっているよ。通学通勤前の交通量が少ない時間に作業を行ってくれているんだって。玄関前の雪の処理は自分でしたり、路上駐車をしないようにしたり、ゴミ出しの日や時間を守ったりと、みんなで協力することも大切だね! 詳しい説明も見られるので、一度テレビのdボタンでチェックしてみよう!



## Q&A

### Q. 除雪作業の高齢化問題事情

A. 除雪を請け負っている建設業の55歳以上の業者の割合は、2000年には25%程度でしたが、2016年には40%程度に増加しています。逆に29歳以下は20%程度から、10%程度に減少しています。このままだと除雪機械があっても操作する人がいなくて除雪ができなくなることが心配されます。オリンピックに向けて建設ラッシュの東京では工事現場に外国人も働いているので、札幌の除雪を雪が降らない国から来た外国人が行う日が来るのかもしれないね。除雪は、みんなの生活を守るとっても大事なやりがいのある仕事です。より多くの人にこの仕事の魅力を知って欲しいと願っています。



授業をサポートする資料は、ここ!

このニューズレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

[ホームページ] <https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

札幌雪学習 🔍 検索

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!

[発行・お問合せ] 札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141